

◆珠算検定試験 答案記入上の注意◆

◆1,2,3級

- (1) 答は、定められた欄の中にはっきりと書くこと。(0と6など見分けがつかないと×になります)
- (2) 答の1の位又は円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」を付けること。
- (3) 無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) 0.25 1,427.39 2,905,406

- (4) 端数処理をした無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) 小数第3位未満の端数を四捨五入したとき。

そろばん面	答
0.4595 ……………	0.460 0.46
5.2004 ……………	5.200 5.2 (5.20とは書かないこと。)

- (5) 端数処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書くこと。

そろばん面	答
0.45 ……………	0.45 .45 (0.450又は.450とは書かないこと。)
5.2……………	5.2 (5.20又は5.200とは書かないこと。)

- (6) 名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) ¥9,528 ¥9,528. ¥9,528[‐] 9,528

(¥9,528.0 ¥9,528¥ ¥9,528円 9,528¥のような書き方はしないこと。)

〔注〕 答の頭には、円の記号(¥)を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。

- (7) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
- (8) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
(例) 123,456
~~-123,456~~
- (9) 答を書き直す場合に定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は()で囲んで書くか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- (10) 答を二つ以上書いたり、同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたり、なぞったりしないこと。
- (11) コンマや小数点は、数字の間に書き、数字に触れたり、数字に重ならないようにすること。また、コンマと小数点の向き等、違いがはっきり分かるように書くこと。

◆4,5,6級(7~10級も準ずる)

- (1) 答は、定められた欄の中にはっきりと書くこと。(0と6など見分けがつかないと×になります)
- (2) 答の1の位又は円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」を付けることが原則であるが、付けなくてもよい。
- (3) 名数の答の頭には、円の記号(¥)を付けることが原則であるが、付けなくてもよい。
- (4) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
- (5) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。

(例) 123,456
~~-123,456-~~

- (6) 答を書き直す場合に定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は()で囲んで書くか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- (7) 答を二つ以上書いたりしないこと。